

## 時の視点

理事長 皆川 昇

例年通り夏休みの宿題をと、広報部長から仰せつかり、考えてみると四回目になりました。平成18年8月15日(火曜日)終戦記念日の蓮根団地の雨の朝は、静かで涼しい風もありもつと寝ていた気分でしたが、奥方殿が冷蔵庫の霜取りをしなくてはとのことにて、一人大奮闘を開始で、否応なく起き出して手伝わざるを得なくなりました。「何！未だに霜取りをするような冷蔵庫を使っているの？」との声が聞こえてきそうですが、恥ずかしながら根っからの貧乏性の為もあり、古い物を大事に使用している(リユース?)ではなくてリデュースか?)我が家ではあります。

一段落してテレビのスイッチを入れみるとNHKがニュースではなく、議論のかまびすしかった小泉総理の靖国神社参拝に向けての出発直前の中継中。時は7時30分。思わずテレビの前にドッカと座り、8時過ぎまでの中継を見ることとなりました。夏休みとはいեսステテコ姿でポケットとテレビを見ている我が身のだらしなさとは違い、モーニング姿に正装し、戦没者追悼に赴く首相の刻みのスケジュールには、零細企業の経営に

汲々とし、組合活動に対してもあたふたしている事を思うとき、何はともあれ、国を背負うという本当に大変な仕事に対し、唯ただ、アンタはエライと改めて感じるばかりです。2001年の組合広報219号に寄稿した「8.15 敗戦記念日となるのか?」から早や満5年が過ぎ、03年理事長職を拝命しての第1回目の夏休み中の宿題を課されたの、広報231号に記載した昭和34年時の主要古紙価格に、半世紀近く経てもヤット同値に並ぶような価格帯では、現況多少値戻し気味とはいえ到底納得出来るところでは無く、産業古紙集荷現場の組合員皆さんの、業の大変さを考えざるを得ないところですよ。主原料としての地位となった価格の有りようを議論する場は無いのでしょうか? 相場とは神の御手によるものだけでしか無いのでしょうか?

デフレ脱却宣言云々をマスコミ等で目にし耳にしますが、過去のオイルショック時に匹敵する原油価格の高騰のもと、諸費用は時代の変遷と共に上昇している中で、リサイクルを叫ばれたの大集荷時代の古紙は、正に前記の通りデフレの代表格その物ではないのでしょうか? ポンクラの私には何としても、以前からそう思えて仕方がありません。

一方、古紙業界のお得意先様である使用先のメーカー側にては、近時迄の熾烈な統廃合により、相当程度に寡占化が進んで一段落と

思いきや、直近の経済面に於ける一大ニュースとなった、大メーカーに依る中堅メーカーの吸収策等を知らされると、まだまだ新世紀変革の荒波は収まらない時期なのではないでしょうか。買収劇が今後どのような展開を見せるのかは私にわかる筈も無く、投げやりのようでも申し訳けないながら、今後の進展とも絡み、古紙の価格相場も含めて、当面成り行きに任せるの他、方策なしの感があります。唯、何時もの言ながら、明日を夢見て今日を乗り切つて行く努力はするつもりで、何とか夏休みの宿題を済ませてヤレヤレの現在です。

## 東京返本加工協同組合 第四十一期通常総会開催

藤井理事長以下理事並びに監事全員が再選される。

8月21日文京区の東京ドームホテルに於いて東京返本加工協同組合（理事長・藤井康夫、組合員20社）の第41期通常総会が開催されました。

総会は齋藤米蔵理事の進行で、工藤裕樹理事の開会の挨拶の後、藤井理事長より第41期は組合員の協力と日本出版販売株式会社様並びに出版共同流通株式会社様のご指導により無事に好決算にて終了できたとの謝辞が述べられました。続いて議長の選出に入り山中明徳副理事長が満場一致で選任されました。議事では事業報告、決算報告、剰余金処分案等が各理事より提案され全会一致にて承認可決されました。決算報告では売上部門の合計が778,788千円となり予算を大幅に上回り黒字にて終了した旨の報告となりました。

本年は理事・監事の改選期となっており、審議中役員の推選人として庄司吉秋、大村照雄、大柴和男の3氏が指名され、現職全員の理事8名監事2名が推選人より候補者として提案され全会一致にて全員が当選者として承認されました。

議事を中断し臨時理事会が開催され、互選により理事長に藤井康夫、副理事長に山中明徳、専務理事に稲生正俊の各氏の就任が決定致しました。

総会は上田雄健理事の閉会挨拶により無事終了となり、来賓を代表して出版共同流通株式会社常務取締役・中山剛様より祝意と今後の更なる協力要請が行われました。

総会に引き続き特別研修会として税理士法人西川会計・西川豪康先生より『会社法施行に伴う税制改正のポイント（役員給与の税務）』と題したテーマで1時間の講演を頂きました。会員各社には身近なテーマであり質疑応答等も活発に行われ大変有意義な研修会となりました。

総会懇親会は日本出版販売株式会社・代表取締役副社長柴田克己様、出版共同流通株式会社・代表取締役社長高見吉弘様、東京都製紙原料協同組合理事長皆川昇様等多くのゲストをお迎えし和気藹々とした中開宴となりました。

来賓ご挨拶の柴田様は取次販売会社は効率的な仕事推進に取り組んでおり雑誌の返品は減少傾向が予測されるが書籍の古紙化等まだまだ組合との連携を強めた仕事推進のお話があり、皆川様からは子組合の立派な成長に最大限の敬意を払いたいとのご挨拶を頂戴致しました。高見様の乾杯により会は大らかな情報交換の場となり立食会場は熱気

ムンムンにヒートアップしたものとなりました。

カラオケ大会では初めて会にご参集頂いた方々に自己紹介を兼ねて喉を披露して頂き大きな盛り上がりとなり、19時30分過ぎ瀧本義継理事の中締め挨拶により散会となりました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

（事務局記）

東京返本加工協同組合 新役員

理事長 藤井 康夫

副理事長 山中 明徳  
（株）藤井・代表取締役社長

（有）山中商店・代表取締役社長

専務理事 稲生 正俊

（員外・日本出版販売株式会社出向）

理事 深山 重喜

（株）藤川紙業・専務取締役

理事 齋藤 米蔵

（株）齋藤商店・代表取締役社長

理事

工藤 裕樹

(株)工藤商店・代表取締役社長

理事

上田 雄健

(三弘紙業(株)・代表取締役会長)

理事

瀧本 義継

(株)富澤・代表取締役社長

監事

脇 克美

(株)脇商店・代表取締役社長

監事

藤川 達郎

(株)藤川紙業・代表取締役社長

## 「廃棄物再生事業者登録」の説明会を開催

広報部副部長 脇 克美

事業部主催により、去る、7月7日午後5時より本部会議室において「廃棄物再生事業者登録」（以下「登録」に略す）の概要、要件、手続き及び申請時添付書類の説明と書式等について、東京都の担当職員お二人に詳細に説明をしていただきました。当方組合員は26名、また本部役員も6名出席と会議室もまさに満員の状況でしたが皆、メモをとりながら真剣に説明に聞き入っていました。当初は30分ぐらいの予定でしたが、質疑応答もいれて2時間という長丁場となりました。紙面の都合上、全てを紹介することは出来ませんが気が付いた案件を何件か箇条書きにしました。

1. 廃棄物の再生を業としている。
2. 梱包機（ベラー等）は必ずしも必要としない。都では手選別を認めている。
3. 手選別の場合は、その場所が確保されていること。
4. 事業所が都内にあること。2箇所以上ある時は、それぞれの申請が必要。
5. あくまでも登録であって許可ではない。

等ですが、私の印象では「申請」作業はさほどの大仕事ではないと思われました。ただ、添付する書類がいろいろ必要となるので、その準備に多少、手間取るかと思えます。尚、当分は先着順のため残念ながら出席できなかった方も多数いらっしゃいましたが、申請をお考えの方は次の

都庁第二本庁舎9階 環境局廃棄物対策部 一般廃棄物対策課施設審査係

電話 03-5388-3582（直通）

が相談窓口となっております。また、申請書類を受け取りに行けば「登録の手引」と、いろいろな説明をしていただける筈です。必ず電話でアポを取ってから行ってください。先ほども書きましたが、これはあくまでも「登録」であって「許可」ではありません。しかし、一件ごとに登録の「番号」が付与されます。看板、名刺、トラック等に登録業者であることを掲げる事ができます。また、一度登録手続きをすれば、3年に一度の報告のみであとの手続きは何もありません。集荷をする者にとって、お得意様から「何の資格があるの」と問われた時の説明に役立つのではないのでしょうか。

## 警察庁に陳情

広報部長 清水弘允

改正道路交通法が平成18年6月1日より施行され、従来より厳しい駐車違反取締りが行われるようになりました。

我々古紙業者にとつて深刻な影響が予想されますので、関係諸官庁にご理解を頂く活動をする事となりました。

まず7/10(月)、警視庁と警察庁を、民主党松原議員に同行願ひ皆川理事長以下6名で訪問しました。そこで、古紙業界の説明、特にゴミ問題の解決、資源リサイクル、地球環境保全の観点から、古紙業界の存在意義を説明しました。その場で、もう少し具体的な古紙回収の実態を知りたいとの意見を頂き、8/23(水)再度、必要資料を用意して皆川理事長以下7名で、警察庁を訪問しました。古紙を3種類に分類し、各々の回収現場特有の問題点について説明しました。製本所、印刷所等から回収する産業古紙。P.T.A、子供会、町内会等から回収する回収古紙。更に事務所、流通業者等から回収するオフィス古紙に分けました。

先方の担当者と活発な質疑応答を行い、2回の訪問を通じて古紙業者の回収活動について一定の理解をして頂いたと思います。

また役所との折衝ですから法律に基づく話し合いが必要です。そこで古紙業者の関係法規である、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「東京都道路交通規則」などの法律の指摘、その中で「専ら再生利用の目的」で紙ごみと言う廃棄物を収集している事など、微妙な古紙の位置付けについても意見交換の中で述べました。

いずれにしろ、多数の業界から陳情が来ている様ですので、そう簡単に結論の出る話ではないかもしれませんが、今後も粘り強く古紙業界の実情を訴え、我々組合員が駐車違反の心配なく、安心して古紙回収に従事できるように、行政にアピールして生きたいと思えます。

## 支部だより

〔山手支部〕

### 納涼会

山手支部 鈴木邦浩

椿山荘に続く坂道を、ひとしきり登っただけで体中の水分が汗となって吹き出るような暑さの中、8月5日(土)に山手支部では家族従業員慰安会を行いました。

2年ぶりの開催ということもあり、「さくらの間」に集った参加者は何と72名。夏休み中の子供達も大勢参加してくれました。これだけ参加していただけると、企画した我々役員一同も嬉しい限りです。

窓からは、夕暮れのシルエットに浮かぶ新宿の高層ビル街、純白のテーブルクロスが敷きつめられた丸テーブル8卓の周りには豪華な料理が所狭しと並んでいる。これが食べ放題というのですから山手支部は、景気がいいのか、気分がいいのか?因みに一部を紹介いたしますと、和食では天婦羅、江戸前鮎、水炊きにかつおのたたき。洋

食はサーモン、牛ステーキ、ムニエル等など。あまり挙げると皆様のお腹が鳴りそうなのでこころ辺にしておきます。

宴会は、飯塚厚生部長の一声で始まり、宮崎支部長の挨拶の後、近藤友宏氏より差し入れられた銘酒「商売繁盛」を長井理事の乾杯の音頭で頂きました。是非あやかりたいものです。美味しいお酒に、料理、何より増してお子様やお孫さんの笑顔に囲まれて皆さん本当に楽しそうでした。テーブルマジックやビンゴゲームの余興も大いに盛り上がり、あつという間の2時間でした。最後に協理事の仲締めで散会となりましたが、来年の夏もまた慰安会で皆様とお会いしたいと思えます。

〔文京支部〕

### 納涼会

文京支部長 大柴和男

恒例の文京支部納涼会は8月8日(火)開催されました。文京支部は例会を毎月開催し、大塚駅前前の寿司屋と中華料理屋の2ヶ所を会場として交互に利用しています。今回の会場はその内の一方である遠東飯店でした。パルク山田さんが幹事となり、いつもの例会より予算を増やした一段と美味しい中華料理を、飲み放題のお酒と共に楽しみました。出席者は残念ながら都合の付かない支部員

が多く10名でしたが、倉友さんがご夫婦で参加して下さり、また大同生命愛下課長代理斎藤さん、IOI損保代理店近藤社長にもご出席頂き、仕事の話や四方山話で、予定の2時間がすぐに経ってしまいました。最後に支部長自ら用意した垂れ幕を前にして、恒例の記念写真を撮り、支部長の三本締めでお開きになりました。

〔城南支部〕

### 納涼会

城南支部長 坂田 智

夏本番の7月29日(土) 白金の八芳園に於いて城南支部の納涼会が開催されました。天気にも恵まれて各支部員の家族、従業員の方55名の参加を頂き6時30分に開宴。まずは、坂田智支部長の挨拶、そして梶谷商事の梶野会長の乾杯のあと美味しい料理とお酒に舌鼓を打ち和やかに歓談。参加者のボルテージが上がってきた頃に、お待ちかねのビンゴゲームが始まり、後藤商店の後藤さん、共益・商会の駒井さんの協力のもと35の賞品も、あつと言う間に底をつきました。最後は、中締めを丸幸紙業の近藤社長にお願いしてお開きとなりました。次回支部会は9月14日の予定です。

〔台東支部〕

納涼会

台東支部長 高山 昭二郎

7月21日（金）午後6時30分より理事・近藤 昌和、会計・近藤 清司の両氏の幹事による納涼会を上野御徒町の「銀河高原ビールレストラン」にて行いました。

出席者は支部員の半数9名と少し寂しい人数となりましたが、飲み放題「1950円」、特にお勧め「地ビール」3種類（黒・フルーティ・スタンダード）と有り支部長の挨拶、長老・野村様の乾杯で始まりました。料理は、一人前「2000円」のコースで少し余る程の量でした。3種類の内、フルーティ味のビールは女性向で口の中でフルーツの香りが残る様で、我々男性には味見だけで終わる人が多かった様でした。一般に市販されているビール、お酒、焼酎等、勿論あり、飲むほどに声だかになり、初めの挨拶の中に有った道交法改正による駐車禁止法に対する陳情を7月10日に警視庁、警察庁に上申した事、又、理事会報告、市況報告等が話題となりました。飲み、食い、喋り、時刻も午後9時近く、理事・近藤 昌和さんの中締めにて散会となりました。

## 私の夏休み

広報部長 清水広充

普段はなかなか休みを取れないので、盆休みを挟んで夫婦で海外旅行をするのが、ここ数年の私の楽しみになっている。欧州に行く事が多くレンタカーで回るのが通例である。今年にはフランスの中心部リヨンから出発した。飛行機の切符の関係で、出発地と最終目的地は決めなければいけないが、その他何処に行くかは現地に行ってから決めていく。今年の欧州は6月から暑い日が続いて、せっかく行くのに涼しい思いが出来ないかと心配していたら、旅行の10日くらい前からいっぺんに20度位温度が下がって、今度は平年より寒い欧州になっていた。持って行ったセーターが役に立った。もともと海より湖が好きなのでリヨンからまずスイスのレマン湖に向かう。ジュネーブの手前にアヌシー湖があり、ここはフランスのベニスと言われる所なので立ち寄る。町の中心に気に入ったホテルがあり聞いたところ空いていたので1泊。以前来た時は6月で人気がなかったが、今回の町は、花で飾られ、人であふれ、まったく違った華やかな

雰囲気だった。

翌日はレマン湖沿いをドライブして、ジャズフェスティバルで有名なモントルー郊外のホテルに2泊。ヨットハーバーが目の前に見える窓からの眺めがいい。モントルー中心部はさながら熱海の「お宮の松」前みたいで、ホテルが林立していて気に入らなかった。ジュネーブの高級ホテルに寄ったら、金持ちそうなアラブ人で溢れていた。

次いでルツェルン湖畔に行く。昨年泊まったホテルに行ったら女主人が覚えていてくれた。バブル期にはスイスの時計店に行けば日本人で溢れていたが、今は完全に主役が中国人に代わった。昔は日本人の店員がいたものだが今は中国人の店員だ。お客の7割8割が中国人と言っても大袈裟ではない。それに韓国人、インド人がいて、スイスにいると世界の経済情勢が分かる。

次は昨年気に入ったオーストリアのエツタールに行く。インスブルクに近いチロル地方の山村だ。この山小屋に行ったらやはり女主人が覚えていてくれて、歓迎してくれたので嬉しかった。この山小屋は昨年始めて泊まったのだが驚くほど料理が美味しい。スイスは余り料理が美味しいところとは言えないし物価が高いのがいただけでない。その点、オーストリアは比較的物価が安いし料理が美味しい。

その翌日から、今回一番、機嫌な3日間が始

まった。今年はモーツアルト生誕250周年で、ザルツブルクは人でいっぱい聞いていたのであきらめていたところ、ザルツブルク郊外のヴォルフガング湖畔ザンクトギルゲンのホテルが取れたからだ。スイスのホテルに泊まっている時TELして交渉したら確保できた。それも今まで何度か来て泊まらなかったレイクヴューが取れた。少々値が張ったけれど無理して3泊。ホテルの主人もウェーターも覚えていてくれた。このホテルの売りはヴォルフガング湖の眺め。テラス・レストランでの朝食と、次第に暮れていく湖を見ながらの夕食は最高だ。ホテルの主人が他の宿泊客にも我々の事を紹介してくれたりして、楽しい思い出を作る事が出来た。

最後はミュンヘンに出て、1泊して帰国。

1年振りに欧州に来て感じる事が幾つかあった。1つは先程も書いたように、中国人がすごく増えている。中国人、台湾人それに韓国人がブランド物を買いまくっている観がある。日本人は何処に行っても行ったのかと思うほど見かけなかった。それにジュネーブやミュンヘンのような大きな町の高級ホテルはアラブ人が占拠していたし、ミュンヘンのマクシミリアン通りはすっかりブランド街となり、黒いベールをかぶったアラブ人女性が多数、両手いっぱい買物袋を抱えて歩いていた。

仕事柄りサイクル事情に目がいったが、パー

キングエリヤや地下鉄駅にあるゴミ箱は何処も必ず分別型になっていた。紙とビンの2種類に分けて捨てさせる所が多かったが、オーストリアのパーキングエリヤで見た例では、古新聞、金属缶、透明ビン、色付ビン、プラスチックなど、実にサイズを入れて8種類に分けて捨てさせるゴミ箱であった。ドライブして感じたことはトヨタ車が確実に増えている事。ホンダ車、マツダ車が頑張っている事。ディーゼル車が多く、黒色の車がやけに多くなった事だ。総じて運転マナーはよく歩行者優先は徹底している。ほぼ全ての車が昼夜問わず前照灯を付けて走行している。高速道路に関して言えば、フランス、イタリアでは料金所で幾らか通行料を払うが、スイス、オーストリアではシールを事前に買ってフロント・ウィンドウに貼っておけば、いくら走ってもそれ以上とられる事は無い。ドイツは無料。面倒くさい事といえば、高速道路のパーキングエリヤでトイレに入ると、必ず入り口に男が立っていて日本円で70円位を取ること。しかし総じてパーキングエリヤの食事は美味しいものを出し、食品スーパーに近い形態の店もある。また来年も行けるよう、それまで頑張ろう。

## 新事務局長挨拶

夏目 茂

8月より組合事務局長を担当することになりました夏目 茂です。どうぞよろしくお願い致します。今回は、貴重な紙面をお借りして誠に僭越ではございますが、簡単な自己紹介をさせていただきます。

私は昭和25年生まれの虎年です。両国で生まれ、育ちは江東区の大島、現在の住まいは墨田区の業平です。今度できる新東京タワーの近くになります。ですから下町生まれの下町育ち、「江戸っ子」と言うことになりましたか。

前職では、販売代理店の総合窓口の職務をしておりました。会社説明会のスケジュール作成や販売企画・イベント・会議の準備・相談等、その時々状況に応じて適格・迅速な対応をしなければなりません。会議の議事録も担当していましたので、ちょうど組合の事務局に似たお仕事が多かったかもしれません。人が相手の仕事なのでストレスも当然ありました。ただ、健康管理には人一倍、気を付けています。時には健康食品を必要に応じて摂ったり、週末はテニスで汗を流し、時々、旅行に行き、心と身体に栄養を与えています。事務局の仕事は、まだまだ不慣れで、迷惑を

お掛けする事が多いかもしれませんが、一日も早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張つてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

## お知らせ

平成18年会議・催事予定

9月 4日(月) 組合会議室

・ 常任理事会 (pm2:30)

・ 理事会 (pm4:00)

9月15日(金)

・ 古紙センター静岡地区委員会 (pm

4:30)

・ 懇親会 (pm5:30)

9月16日(土)

・ 古紙センター静岡地区委員会活性化  
ゴルフコンペ

9月19日(火)

・ 古紙センター関東地区委員会 (pm2:  
00)

9月22日(金) 23(土)

・ 青年部研修旅行一泊二日(王子製紙苦小  
牧工場見学)

9月28日(木)

・ 古紙センター業務委員会 (pm1:3  
0)

・ 全原連役員会 (pm2:30)

## 〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4紙の標準売値〕

平成18年8月8日現在

\* 新聞 6円(横這い)

\* 雑誌 3~5円

段ボール 4~5円(横這い)  
色上(並) 3~5円(横這い)

関東商組の融通(共販)事業「平成18年8  
月度実施の共販価格(kg当り)」

〔新聞 古紙〕

休止

〔段ボール 古紙〕 10円50銭/kg プ  
レスもの・店頭価格

## 会議概要

〔7月・9月〕

7月度定例理事会

〔平成18年7月3日

(月)〕 出席理事 28名 於) 組合会議  
室 pm4:00

## 皆川理事長挨拶

今年度は、昨年までの「組合活性化委員会」  
に代わる新しい委員会の設置を考えている  
が、各支部長さんには、支部員の中から候補  
者のご推薦をお願いしたい。本日もよろしく  
ご討議の程お願いしたい。

## 〔各部報告〕

〔総務部〕 当会館のテナントに関して、1  
回のサンプリントさんは6月中に現状家賃  
で貸室契約を更新した。

## 〔直納部〕

直納部として研修旅行を計画し  
ている。11月に組合共販輸出の輸出先で  
ある中国の製紙メーカーを、又、来年には国  
内の大手製紙メーカーを訪問する計画でい  
る。市況に関して、現在は古紙の在庫が少な  
い上に、大手メーカーによるDIPの新規需  
要を控えて、各メーカーでは在庫を積み増し  
するよう努めている。そのため、今年の岳排  
の時期にも荷受するメーカーもあると言わ  
れている。

## 〔品種別市況報告〕

### 〔上白・特中白〕

上白は、輸出を行ってきたため一時ほどの余剰感はなくなった。但し、  
国内メーカーで使用するところが少ないの  
で、今後も輸出を続けていくことになる。一  
部メーカーは値下げを発表した。特中白は、  
発生は少ないが使用も少ないのでバランス  
している。パルプは、国内大手メーカーが国  
産パルプの価格を引き上げると表明した。7  
月にLBKPが3円/kgの値上げで、チツ  
プや薬品の値上げを理由に挙げている。値上  
げは4年ぶり、これが浸透すれば、現行価  
格61円/kgが64円/kgとなる。又、  
ブラジル産LBKPの5月積み価格は59  
0ドル/トンとなった。

### 【家庭紙原料】

6月23日に静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会を開催した。当組合より先方の組合に対して、家庭紙原料の価格が裾物並みの低価格である旨と、今秋の新規DIP設備の稼働により古紙が不足する旨を伝え、理解を求めた。又、家庭紙製品については、まず製品価格の復元を実現してもらい、その上で、古紙価格も復元してもらおうようお願いした。

### 【切付】

産業古紙の発生は悪い。出版不況は相変わらず続いていて、切付の必要量を確保するのに苦慮している。出版部数の伸びも期待できないので、先行きは大変厳しいものがある。

### 【新聞・雑誌】

集荷は順調。消費は対前年比1.4%増。輸出は30万トン/月を維持している。そのため問屋在庫は不足気味で推移している。

### 【ダンボール】

輸出が順調で需給はバランスしているが、国内の使用も増えているので、全体のバランスを常に見守ることが必要だ。中元の季節を迎えているが、動きに大きな変化はない。

### 【返本雑誌】

6月の返本部数は前年割れになるのではと見込まれている。発行部数が伸

び悩んでいる上、新刊の発行も減っていることが影響していると思われる。

### 【オフィス古紙】

発生量は変わらないが、輸出が好調なためバランスしている。

### 【集荷部】

発生が減り続けていて大変困惑している。DIP設備の稼働などにより家庭紙原料が値上がりの方向に向くよう願っている。又、秋需に期待したい。

### 【広報部】

広報7月号の発行準備を進めている。7月中旬に発送の予定。

### 【事業部】

7月7日廃棄物再生事業者登録申請に関する説明会を開催する。今回は28名が出席の予定。結果については後日報告する。

### 【青年部】

本日(7月3日)青年部幹事会を開催し、研修旅行について打ち合わせる。

### 支部長・業務部長合同会議

【平成18年7月13日】出席委員15名  
於 組合会議室 p m 4 : 0 0

(駐車違反対策) 警察庁対応

\* 7/7(金)の警視庁、警察庁への陳情で分かった事。松原仁代議士同行。

\* 警視庁は法律の執行機関であり、法律制定に係わるのは警察庁である。

\* 警察庁交通局交通規制課03-3581-0141種谷課長、堂前課長補佐

\* 警視庁交通部駐車対策課03-3581-4321中俣課長(ナカマタ)警視

\* 6/1道路法改正以来、千数百件の陳情が来ているようだ。その中で、取り上げ

てもらいには、余程、差別化したアピールでないといけない。

\* 古紙回収作業で具体的な不都合事例を、列挙して欲しい。

\* 古紙回収作業がどんなものか、役人の方が理解できるように回収作業を写真に撮る事。

\* 古紙回収作業の写真担当を、産業古紙は宮崎支部長、回収古紙は松井支部長、オフィス古紙は近藤副理事長とする。

\* 東京都の紙ごみ回収数量の資料を探す。

\* 古紙・廃棄物に係わる法律資料を探す。

\* 駐車取締りは重点取締り地区で、しかも5分程度の駐車では取り締まっていない。我々が求めているのは、免除(無条件駐車OK)でなく許可(一定条件で駐車OK)である。

\* 以上、担当が準備してから8/3(木)

16:00再度合同委員会を開催して、次のステップに進む。

(東京都産業労働局)

- \* 7/17人事異動があった。
- \* 今後、東京都との付き合いを深めたいので人事が落ち着いた時点で、アポイントをとり、ご挨拶に伺いたい。

(事務局長後任人事)

- \* 求人募集と募集条件・内容についての確認をする。

(広報9月号制作について)

- \* 事務局長退職に伴い、広報9月号は通常の制作が出来ない事を、組合員に理解してもらった。つまり会議の一部は詳細を省いて会議名、開催日時、出席者および検討内容について簡単な報告に止める。
- \* 会議原稿作成者に関しても、理事長以下出席役員に会議の内容を書いてもらう。

(青年部)

- \* 青年部は、工藤幹事長がもう一期世話をする事になり、継続する事になった。

古紙センター

**業務委員会**

〔平成18年7月25日(火) PM1時30分〕 於 古紙再生促進センター

堀川理事長より議事に先立ち、概要以下の挨拶があった。

「ご承知のとおり、九州を始めとする広い地域で大変な集中豪雨が続き、被害に遭われた多くの方々に対してお見舞い申し上げます。やはり製紙メーカーとしても回収の皆様方も色々と事業を運営される面でご苦労がおりかと思いますが、梅雨明けも間近だと思いますので、ひとつ乗り切って頂きたいと思っております。レンゴウの大坪社長からお伺いしますと、やはり生産も出荷も長雨のせいか必ずしも良くないなくて若干低調であるが、15日以降少しずつ持ち直しているということです。色々な面で原料的にはやや低調であるという感じです。最後にメーカーとして一番頭の痛いところが原燃料特に重油の価格が高止まりしているということです。特にいわゆる第5次中東戦争になるのではないかと言われるレバノンとイスラエルの紛争とか産油地における紛争等がありますと、やはり我々製紙業界を取り巻く環境というものが決して樂觀を許されない状況下ということではないかと思えます。それで、国内の古紙につきましても、皆様方のご尽力その他で回収がどんどん伸びておりますけれども、国内需要と同時に中国を始めとする輸出も伸び率としては若干

減ってきているようですが、絶対値としての数量は引き続き伸びているという状況下にあります。そういったことで、皆様方のお仕事の進め方に色々ご苦労はあると思いますが、また引き続きよろしく願いたいということで私の挨拶とさせていただきます。」

〔1〕 全国古紙の需給・市況動向〔H18年6月度報告

各地区からの報告をまとめると古紙の発生、集荷は、概ね順調に推移している。また古紙市況は、変化なく推移している。(全国的に販売仕入価格とも6月比変化なし)

〔2〕 平成18年度在庫補助対象事業の実施について

1) 広報宣伝事業

①ペーパーリサイクル講習会

2) 調査・研究事業

①古紙利用率向上促進対策事業

②オフィス古紙リサイクル状況調査(シユレッダー古紙対策)

③新規用途普及促進対策等事業

④紙リサイクルセミナー

⑤オフィス古紙リサイクル研修会

⑥リサイクル対応型紙製商品開発

〔3〕 リサイクル経験者の活用（OBボラン  
ティア）について

堀常務理事より、センターが実施する紙リ  
サイクル経験者活用制度について説明する。

**全原連役員会**

〔平成18年7月25日（火）  
PM4時〕 於 古紙再生促進センター

（1）機密書類取扱アンケート調査実施に関  
する件

\*個人情報保護法（平成17年4月1日）

施行後の機密書類処理の動向に関し、経  
済産業省より情報収集の依頼があり、全  
原連として組合員にアンケートを実施  
し、各組合事務局で集計し、全原連事務  
局が総括する。

\*設問事項追加及び各支部要望を取りま  
とめることで了承された。

（2）古紙再生促進センター関係報告

\*業務委員会（7月25日開催）報告

①業務委員会 新任委員紹介

・新井英一（株）デルエフ）・泰楽俊一（日  
本大昭和板紙株）・堀内和馬（興亜工業株）

②平成18年度国庫補助対象事業の実施  
状況について

③紙リサイクル経験者の活用（OBボラン  
ティア）について

（3）段ボールリサイクル協議会（運営委員  
会7月5日開催）報告

（4）中小企業経営革新新団体協議会18年度  
通常総会（6月26日開催）報告

（5）各委員会報告

**関東地区委員会**

〔平成18年7月28日  
（金）〕 PM4時 於 古紙センター会  
議室

議室

〔需要動向〕 06/6月 単位トン、

（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫  
率

〔関東商組32社実績

〔新聞〕

01（107.9%） 仕入 89,7

（109.2%） 在庫12,044（1

17.4%）

〔雑誌〕

6.8%） 仕入 56,500（9

3%） 在庫 5,640（65.0%）

〔段ボール〕

仕入 130,836（9

9.7%） 出荷130,390（99.  
8%） 在庫10,499（99.2%）

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕 入荷 242,

291（107.0%） 消費229,8

31（100.8%） 在庫181,2

06（78.8%）

〔雑誌〕

入荷 125,752（9

8.6%） 消費 135,104（10

3.1%） 在庫 45,857（33.

9%）

〔段ボール〕

入荷 302,964（1

01.2%） 消費304,399（10

0.2%） 在庫 99,702（32.

8%）

古紙センター

**静岡地区委員会** 〔平成18年7月31日

（月）11時30分〕 於 フジロイヤル

プラザホテル

〔堀内委員長の挨拶から〕 最近の段メーカ

ーの状況を少し話させていただく。

この4月に段ボール原紙を5円値上げした  
が、段メーカーからその先のエンドユーザー  
にシートやケースの値上げをしているわけ

だが、かんばしくない状況にある。

原紙メーカーは、もうこれ以上譲歩できないというところで、4月以降強行に集金もし後戻りしないという状況で現在いる。

ただこの状況の中で悪いことがいろいろあり、例えば、原油の値上げがある。昨年はドバイ原油で44\$であったものが、現在は69〜70\$となっている。製紙メーカーはエネルギーを多く使うので、コストアップになってきている。また、原油が騰がるとそれに付随してナフサも騰がっている。製紙メーカーの主力薬品である製紙増強剤も原料がナフサからできていて、これも昨年から3回値上げされていて、これをすべて飲まざるを得なかった。直近では、この5月から飲んできたが、さらにまた値上げの申し入れがあり、非常に厳しい状況になっている。

8月1日から雑誌を1円値上げということ、メーカーにとってはまた苦しい状況の中で値上げということになってくる。段メーカーも価格転嫁ができなくて苦しんでいる。製紙メーカーもそういった中で利益を圧縮され苦しんでいる。

せめて古紙問屋さんだけは利益を保ってもらいたいと思う。どこかひとつでも利益を保っていれば、あと少しは何とかなるのかと思う。すべてが厳しくなってしまうと話もギクシャクしてしまう。板紙・段メーカーの実情をご理解いただきたいと思います。

## 【市況動向】

### 【第一部会】 上物古紙

産業古紙全般は、非発生期で先月同様入荷が低調に推移し、タイトな状況が続いている。8月一杯はこの状況が続くと思われ、9月以降の発生期に期待している。

【上白】 メーカーの使用は少ないが、余剰分が輸出にまわっていることもあり、現状はバランスしていると思われる。

【特中白】 発生も少ないが、消費も少ないのでバランスしている。

【板紙・ケント・色上】 非発生期に入り入荷が減少しているが、メーカーの使用に変化がないため、タイトな状況にある。特に色上はメーカーのDIP増設があり非常に不足している。

【家庭紙・ケント・込頁】 発生率も少ないので、全体としてバランスしているように思われるが、値上げの仮需で増産したメーカーでは不足気味であるものと思われる。

### 【模造】

同様である。

【家庭紙色上】 家庭紙メーカー向けの発生は少なく、価格的にも雑誌の輸出価格より安いいため、余剰分は輸出に回っていると思われる。バランスしている。

【切付】 発生が少なく、一部洋紙原料として使用されていることもあり、タイトな状況

が続いている。

### 【業者側コメント】

【上白】 従来はパルプ価格に連動していたが、近年はそういうことがなくなり独立した銘柄になってきたように思われる。

【板紙・ケント】 品質により非常に不足しているもの、あるいはやや余剰かなと思われるものがある。メーカーの技術革新によって、どの品質も使えるようになれば、業者も安定して供給ができる。是非、よろしくお願いしたい。

【家庭紙】 産業古紙の発生が非常に少ないので不足している。

【オフイス古紙】 通常通り発生しているが、輸出がいいので、そちらへ振り向けられている。

【切付】 大手メーカーが使うロットが大きいので、今まで使用していた特更メーカーは大変と思われる。

### 【第二部会】 新聞・雑誌

【新聞】 6月に引き続き7月も入荷・使用とも堅調に推移している。在庫も大きな変動はないようだ。

【雑誌】 4〜6月とほぼ計画通り動いていたが、7月に入り、特に月初めは入荷が非常に悪く、各メーカーとも在庫レベルがかなり低くなっている。現在、岳排休転もあり、富

士地区に関しては在庫が回復しているが、入荷状況から見ると7月はかなり未納が出ると思われる。

各メーカーは8月から雑誌1円の値上げを打ち出している。

### 【業者側コメント】

関東32社新聞古紙の上半期の累計は、前年同期比で入荷が109.6%、出荷が108.7%と、入荷ほぼ似たような水準であった。新聞の入荷レベルが非常に高いが、これはチラシ・パンフレット・広告出稿増等が考えられ、新聞用紙の出荷が10ヶ月連続で前年を上回っている。これが、回収に反映しているかと思われる。それにしても二桁近い伸びは、どうかと思う。関東に三紙会という実務者会があり、それぞれのヤードでの状況を数字にしているが、そこでは105.6%となっている。

輸出価格は、138\$・12.70円となっている。これは中国での白板市況があまり思わしくないこと、あるいは一部地域で、公害問題から中小板紙の操業がダウンしていることがあげられる。したがって使用が減ったといわれているが、今のところはほぼ横這いではない。

1～5月の累積輸出量は前年同比106%となっている。雑誌の1～6月の32社の入荷が104%丁度、出荷が103.9%と、

これも一緒といえる。三紙会では入荷が101.8%と32社とは若干の違いがある。輸出価格は、116\$・10.31円とほぼ横這いである。雑誌については8月から1円値上げして頂けることになった。国内の発生期が過ぎたこと、白板の操業が非常に順調であることが理由といえ、メーカーの在庫が大分少なくなっていると聞いている。

また、輸出価格との乖離が3品の中では一番大きいので、1～5月の輸出累計で118%とかなり増えている。国内メーカーへの入荷が減る影響が出ている原因かと思う。

### 【第三部会】段ボール

6月は発生が悪かったのか、入荷が低調だった。しかし、消費は何とか確保できたといえる。7月に入っても引き続き入荷は低調に推移しているが岳排で1週間のマシン停止があり、一息つけたのかと思う。段ボール原紙の需要状況は、製紙連合会の数字によると、6月の生産が99%、販売が99.9%と前年を若干下回っている。7月に入って天候不順で、飲料、農産物関係で出荷が悪いと聞いているが、梅雨明けで飲料関係が出てくるのではと思う。

### 【業者側コメント】

段ボールの発生はどの地域でも悪かったようだ。7月ということで、通常の月よりは多目に発生するのではないかとという期待を持

っていたが、期待はづれに終わったようだった。その原因は長梅雨・だらだら陽気で、夏場需要が伸びる飲料・青果物・夏物家電の特需の消費が思った以上に鈍かったということが考えられる。在庫状況は、全体の入荷が悪く、問屋在庫または問屋へ入るまでの流通から発生するコンビニ・ドラッグストア等、発生即集荷・出荷という、段ボールは足が早い銘柄であるが、全体の発生が鈍ったことで問屋在庫は、殆どランニングストック程度である。先週富士地区では岳排休業があり、荷受制限もあつたようだが、週明けのここ2・3日で調整されるのではないかと見ている。7月の輸出価格は関東商組で132\$、為替を116円として12.10で終わっているようである。

### 【質疑応答】

Q：岳排休転が例年7月末に1週間ほどあるが、メーカーはこの時期をずらすという考えはあるのか？

A：岳南排水路管理組合が行う工事のため排水ができず、休転しているものであり、この時期はメーカーでは決められない。排水路の老朽化が進み、工事期間が長くなっている。電気消費量等からこの時期に行っているのではないかと。

Q：従来お盆の時期にやっていたものを人手の問題もあり7月末にしたとも聞いている。今後、岳排の時期を7月末に固

定していくのか？

A：これは組合でなければわからない。一度、組合に聞いてみる。岳排の間の荷受は、メーカーにより対応がまちまちである。

Q：段ボール原紙の値上げは浸透しているようだが、シート・ケースの値上げの進捗状況というか、現状はどうか？

A：ケースは良くわからないが、シートでは半分ぐらいと思われる。あまり樂觀はできないというのが、営業の見方である。全農関係も遅れ気味になっている。代理店は、段メーカーに本当に物を売っているのかという心配を始めた、というのが現状である。

### 臨時常任理事会

〔平成18年8月3日  
(木)〕 出席理事14名 pm4:00  
於) 組合会議室

#### 1. 新事務局長の紹介

新事務局長・・・夏目 茂が8月2日(水)より勤務

#### 2. 駐車違反問題について

各自より意見を出し合い申書の内容をどうするか討議した。  
次回、警察庁を訪問する際、次の点を重視し陳情にあたる。

①写真を使用し古紙の種別による回収現場の状況説明をする。

(産業古紙・オフィス古紙・回収古紙について)

②廃棄物に占める古紙の位置づけについて説明をする。

③東京都廃棄物事業協同組合の現事情の把握をする。

(今回の駐車違反問題での東廃協に対する事実確認・・・皆川理事長)

前回より具体的な説明・交渉ができるよう、上記の内容を含む上申書を再度作成する。

(上申書の作成・・・清水広報部長)

警察庁を訪問する日時を連絡し決める。

(8月21日～26日の間で午前10時頃でのアポイントを取る・・・事務局長)

#### 3. 全原連の役員会出席について

4. 宮川特更委員長退任について

後日、代わりの候補を直納部長に一任し決める。

### 直納部・共販合同委員会会議

〔平成18年8月9日(水)〕 出席委員23名 pm5:00  
於) 日暮里「割烹 東忠9階」

#### 1. 古紙の需要・市況について

雑誌の価格が修正された為、原料値上げ交渉をどうするか討議。

値上げのタイミング (9月か10月

頃)・申し入れの手段を含み、製紙メーカーに事前をお願いをして、どこかで会議をしてみよう。

#### 2. 上白の輸出対応について

委員より上白の組合輸出を検討してほしいとの申し入れがあった。

品質の問題、対応してくれる商社があるかどうか等の問題があるので、これから検討する。

#### 3. 旅行研修について

今回は中国に行くが、正式な日程が決まるのは9月になる。

会議終了後、納涼会へと移行する。

## 編集後記

広報部副部長 脇 克美

今年の夏は梅雨明けが遅かったせいとか、突然襲ってきた猛暑に身体が馴染んでくれません。皆様がこれをお読みになっている頃には少しくらいは涼しくなっていれば良いのですが、しかし夏バテは秋口にひどくなると聞いたことがあります。皆様もお身体のケアには充分ご注意ください。私の夏といえば、2、3軒のお得意さんがお盆も休まず営業して頂けたので、快い汗をかかせていただきました。そんな8月12日の晩のことです。家族の者は旅行に出掛け、一人ボーっとニュースを見ながら酒を飲んでいました。後番組は「想い出のメロディー」です。この出演者が私の青春時代とピタリと重なり、加山雄三やワイルド・ワンズが出てきた時には一緒に楽しみも歌っていました。テレビで久方ぶりに楽しい時間を過ごし、ハタと思い出しました、親父が似たような番組で村田英男と「王将」を大声で歌っているのを、子供心に呆れて見ていたのを。今日は一人で良かった。思わず苦笑いでした。

何と言っても今年の夏の想い出は「早実」甲子園優勝が一番でしょう。宮川さんおめでとうございます。決勝戦は十五回まで身内でもないのに、手に汗握って見ていました。斉

藤くんも暫くはマスコミに追い掛けられ、いち生徒にはなかなか戻れないのではないのでしょうか。でも私は、何年か後に斉藤君と田中君両投手の投げ合いをもう一度見たいと思います。

そんな私の夏も過ぎて行くこうとしていますが、相も変わらず何の役にもたない編集後記で「ドーモすいません」そういえば「林家三平」のドラマも良かったな。等と思っている私は只のテレビ親父か。